

探訪 **新** ライフスタイル

イタリヤ・ベネチアは地球温暖化の急激な海面上昇により、数十年後には海の下に沈んでしまう恐れがあるという。日本でも猛暑や集中豪雨など気候変動問題は深刻で、他人事ではないと実感した。最も恐ろしいリスクは、環境保全活動を先延ばしにすることだ。一人ひとりが主体性をもって

ライフスタイル

「持続可能社会」近江商人の志



地球に優しい「ラ コリーナ」の屋上緑化

環境配慮、まず実践が共感に

取り組む持続可能な社会に向けた運動が世界で広がっている。やがて滋賀県近江八幡市を

発祥とした和・洋菓子の製造販売を営み、滋賀県以外でも主要都市の百貨店を主

1872年創業の「たね」は滋賀県近江八幡市を主としてきた。持続可能は和洋菓子のできたて工

意図する。屋根一面が芝に覆われたメイシヨップに

の姿勢が共感を呼び、ブランド価値の向上を通じて持続的な成長につながる。

近江商人が説く「三方よし」は、「売り手」と「買い手」と「世間」のすべてでよくなる商いのあり方だ。近江商人はもともと地域社会への貢献を考えてきた。

な社会を実現しなければ菓子の原材料は入手できないと危機感を抱き、1992年より環境配慮・省資源化を経営の軸とした。

「バッジをつけてSDG sごっこをするより、まず実践することが大切」と、たねやグループ10代目当主の山本昌仁氏は語る。礼節りよくしていきたいと、世界中で行動を起こしている若者も増えている。時代を担う世代に、経済価値を生みながら社会価値を実現する企業から学び取ってもらいたいことは多い。

2015年には自然と人がバランスを保って共生することの大切さを体験できる複合施設「ラ コリーナ」を近江八幡市内に開設し、17年には「たね」や×SDG s(持続可能な開発目標)宣言を掲げた。

新型コロナウイルス感染拡大前には年間320万人超が訪れる滋賀県唯一の観光名所に育った。SDG s

(商)創造研究所代表 松本大地